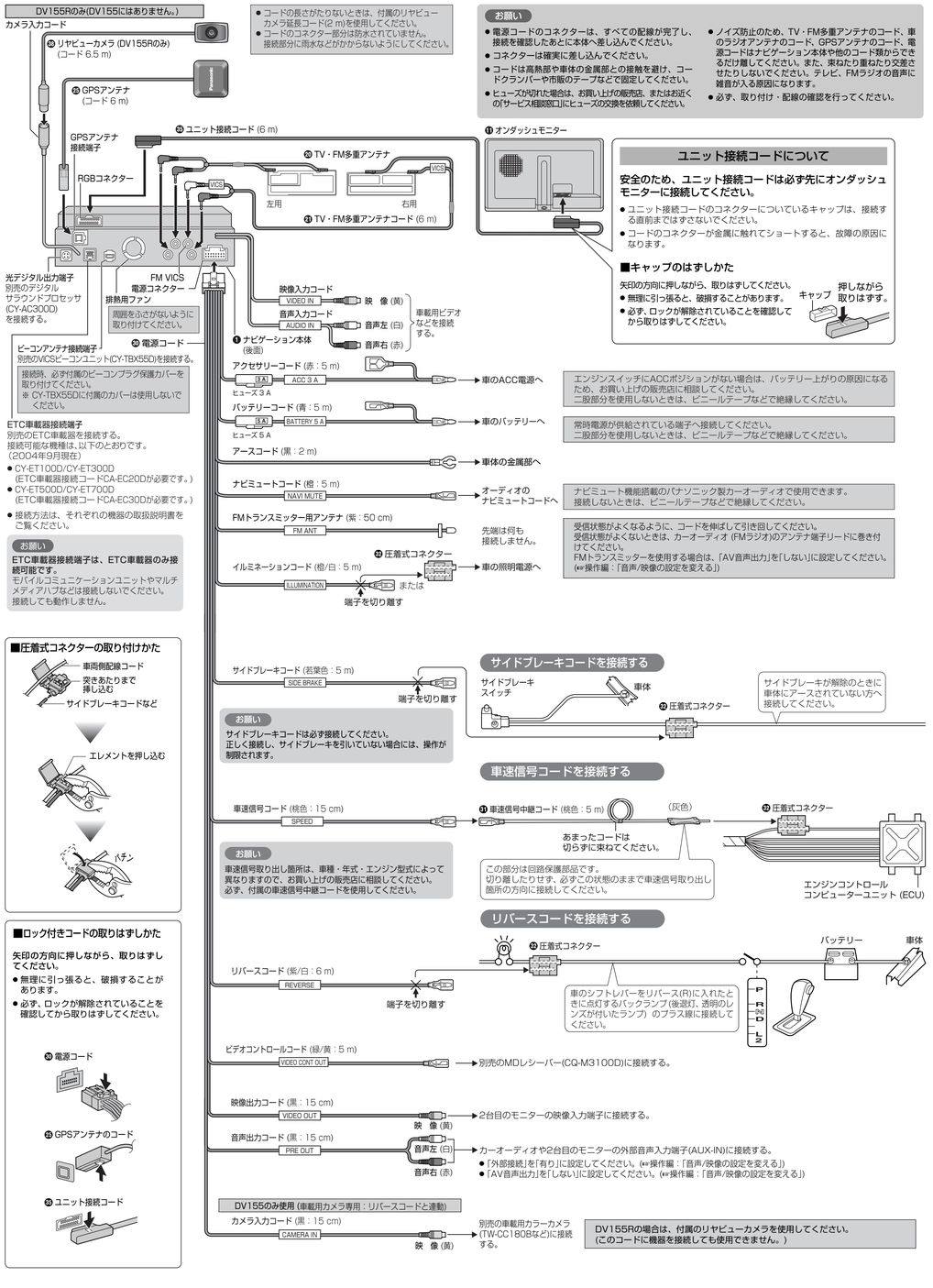
配線のしかた

DV155Rのみ(DV155にはありません。)

- コードの長さがたりないときは、付属のリヤビューカメラ延長コード(2 m)を使用してください。
- コードのコネクター部分は防水されていません。接続部分に雨水などがかからないようにしてください。

お願い

- 電源コードのコネクターは、すべての配線が完了し、接続を確認したあとに本体へ差し込んでください。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。
- 必ず、取り付け・配線の確認を行ってください。



お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。
- 接続後、必ずコネクターにカバー(本製品に付属)をかぶせてください。(はずれ防止・コネクター保護のため)
※CY-TBX55Dに付属のカバーは使用しないでください。

ユニット接続コードについて

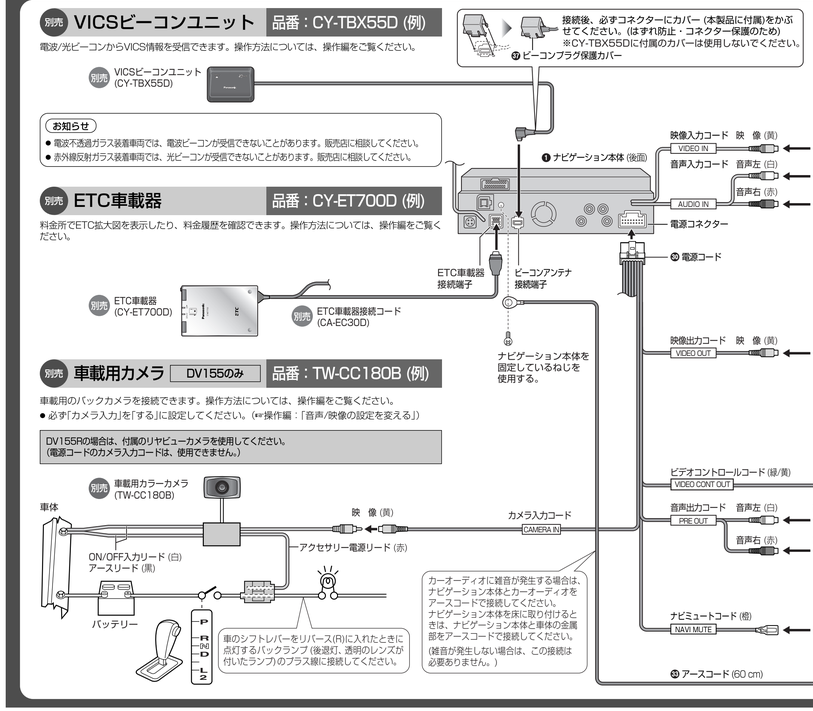
安全のため、ユニット接続コードは必ず先にオンダッシュモニターに接続してください。

- ユニット接続コードのコネクターについているキャップは、接続する直前まではずさないでください。
- コードのコネクターが金属に触れてショートすると、故障の原因になります。

■キャップのはずしかた

矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。



取り付け・配線の確認

本機を正しく動作させるため、下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

❶ 電源を入れる

1 車のエンジンをかける。またはACCに入れる。

- ナビゲーション本体の電源が入ります。

❷ 取付角度設定・車両信号情報・拡張ユニットを確認する

1 を押す。

- メニュー画面 行き先 が表示されます。

2 情報・設定 にタッチする。

- メニュー画面 情報・設定 が表示されます。

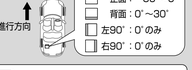
3 システム情報 にタッチする。

4 取付角度設定 / 車両信号情報 /

5 ● 取付角度設定 を設定する。

取り付け角度を設定します。
調整範囲：−30°～30°(5°ステップ)

ナビゲーション本体を取り付けた向きに応じて、下記の範囲で設定してください。



お願い

- SALASにより、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。

■ 取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。

② 車体が水平になる場所で、ナビゲーション本体に取付ゲージを下図のようにあて、本体の取付角度を測る。

- ナビゲーション本体の向きに関わらず、⊕マークを車の進行方向に向けて測ってください。
- 床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。

③ 本体取付角度を設定する。

お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。

● 車両信号情報 を確認する。

① 「GPSアンテナ」「リバース」「サイドブレーキ」「スモールランプ」「スピード」「ACC電圧」を確認する。

② パルスリセット にタッチして、「車速パルス」をリセットする。
同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dジャイロ補正」もリセットする。

③ 現在地画面を表示させ、平均速度20 km以上で見通しの良い場所をしばらく(60分以上)走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dジャイロ補正」を確認する。

GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
リバース	チェンジレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くとON表示に変わりますか？
スモールランプ	車のライトスイッチをONにすると、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	12 V(11～16 V)になっていますか？

車速パルス※	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル1」になります。走行後、数字が変化していますか？(レベル3が最も誤差の少ない状態)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？
3Dジャイロ補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

※車から出力される車速パルスに一定の係数(車速補正係数)をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

● 拡張ユニット情報 を確認する。

メモリーカード	SDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット※1	別売のVICSビーコンユニットを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット※2	別売のETC車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？

※1 CY-TBX55D
※2 CY-ET100D/CY-ET300D/CY-ET500D/CY-ET700D

お知らせ

- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dジャイロ補正」をリセットしてください。
  - ・別の車に本機を載せかえた
  - ・違うタイヤに交換した
  - ・タイヤをローテーションした
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。

FMトランスミッター機能を確認する

FMトランスミッターを使用する場合は、「AV音声出力」を「しない」に設定してください。
(☞操作編：「音声/映像の設定を変える」)

1 FMラジオの受信周波数をFM76.0 MHzに合わせる。

2 テレビ画面に切り替える。

3 テレビの音声がFMラジオのスピーカーから聞こえるかを確認する。

お願い

- 受信状態がよくないときは、FMトランスミッター用アンテナの引き回しを確認してください。それでもよくならないときは、車載用のFMラジオのアンテナ端子リードに巻きつけてください。
- FMトランスミッターがラジオ放送と混信するときは、FMトランスミッターの周波数を変更してください。(☞操作編：「音声/映像の設定を変える」)
- FMトランスミッターを使用しないときは、「しない」に設定してください。(☞操作編：「音声/映像の設定を変える」)
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、リヤビューカメラのコード、GPSアンテナのコード、電源コード、FMトランスミッター用アンテナはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオ、FMトランスミッターの音声に雑音が入る原因になります。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されているかを再度確認してください。